

施策評価シート(平成16年度の振り返り、総括)

作成日 平成 17 年 7 月 27 日

施策No.	2	施策名	良好な市街地の形成
主管課名	都市計画課	主管課長名	福島 寿 昭
関係課名	建設課、区画整理課、長田土地区画整理組合、水道課、下水道課、福祉課、商工観光課、企画課		

施策の目的 対象	市街化区域 市街化区域の住民	対象指標名	単位	15年度実績	16年度実績	17年度実績
		対象区域面積	ha	1,520	1,520	
		対象区域の人口	人	35,173	35,641	

施策の目的 意図	住環境水準の向上を図る 良好な街なみの形成	成果指標名	単位	15年度実績	16年度実績	17年度実績
		市街化区域整備率	%	64.0	65.9	
		市街化区域一人当たりの公園面積	m ²	10.5	10.4	
成果指標の把握方法 (算定式など)	都市計画課の調査データによる 市民意識調査による	都市計画道路整備率	%	66.2	66.2	
		生活環境についての満足度	%			31.3

成果指標設定の考え方	住環境水準の向上を図る指標として市街化区域の整備率(第1～第4工業団地を含む)・市街化区域一人当たりの公園面積・都市計画道路整備率を使う。(都市計画課) *参考:市街化区域一人当たりの標準公園面積は5m ² 以上。 生活環境についての満足度は意向調査による。(平成17年度)
------------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	住民は、公共事業などに対して理解と協力をする。 行政は、未整備地域の整備を促進する。
-------------------------	---

16年度の 評価結果	1. 施策の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)
	市街化区域内の区画整理事業の整備率は他市に比べて高い。また、区画整理地内の宅地化率も高く、新しい住宅地を形成している。 区画整理事業により、計画的に公園を整備してきている。 民間経済誌の調査では、全国696都市の中で住みよさで第20位にランクされている。
	2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括
	区域内の道路網の整備:幹線道路や生活道路を区画整理事業や道路改良事業によって整備している。 あわせて、上下水道の整備を進めている。 公園整備によって、地域のコミュニティや災害時の避難場所を確保している。 自動ドアの設置、段差の解消、水洗トイレの整備など高齢者や障がい者等の人にやさしいまちづくり支援モデル事業を推進した。
	3. 施策の課題認識と改革改善の方向
	区画整理実施地域と未実施地域の問題点(道路、雨水排水)の解消